

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



上の写真は、12月から奄美を訪れているコウノトリです。現在確認があった島は、喜界島、奄美大島、与路島、徳之島です。このまま南下を続け、沖永良部島、与論島にも訪れ奄美を満喫してもらいたいと思います。新聞などにも載り、話題になったコウノトリですが、どんな鳥だかみなさんをご存じですか？

コウノトリは30年ほど前に一度絶滅しています。原因は、森林伐採、減反、農薬、乱獲などさまざまな要因があったそうです。その後、ロシアや中国から個体を譲り受け、人工繁殖を成功させ、現在、少しずつですが野生下でも見られるようになってきました。兵庫県豊岡市には、コウノトリの増殖から野生復帰までを総合的に進める施設（兵庫県立コウノトリの郷公園）があります。コウノトリの郷公園では、環境教育、エコツーリズム、安心安全な農作物の生産など多岐にわたる取り組みを通じて、環境保全と地域経済の振興の両立を目指しています。

幸せを運ぶコウノトリ。コウノトリは幸せだけではなく人と自然のあり方を勉強する機会も運んでくれたのではないのでしょうか。  
(吉田)



# 今の時期に見られる動植物



アマミエビネ

奄美大島だけに生育している奄美大島を代表するとても美しい野生のラン。県の条例で採取が禁止されているが、盗掘があとを絶たない。



タイミンタチバナ

本州の千葉県以南に分布。低地から山地の林内に生える常緑小高木。花は葉の根元に3~10個束生する。



リュウキュウユビナガコウモリ

日本固有種。奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄島、久米島、石垣島、西表島に生息。洞穴の天井のくぼみなどに群塊を形成する。



オオトラツグミ

奄美大島だけに生息している。今の時期、日が出る前の薄暗い時間帯に美しい声でさえずる。



ミヤビカンアオイ

タニムラカンアオイ

カケロマカンアオイ

フジノカンアオイ

奄美群島に生育しているその他のカンアオイ  
グスクカンアオイ、ハツシマカンアオイ、オオバカンアオイ、トクノシマカンアオイ、トリガミネカンアオイ

## 今季の一枚 「カンアオイ」

奄美群島には9種類のカンアオイが生育しています。どの種も固有種でその地域でしか見ることが出来ません。カンアオイの面白いところは、このように各地域によってさまざまな種類に分かれているところです。また、奄美大島では6種類生育していますが、この狭い地域に6種類ものカンアオイが生育しているのは世界を見てもないそうです。

もう一つ、面白いことがあります。カンアオイの種子は風に飛ばされるのではなく、なんとアリによって運ばれます。アリの好きな附属物がついているため、アリはそれを食べるために種子を取りだし、運びます。



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は  
**瀬戸内町**  
です



大島海峡

瀬戸内町は、大島海峡を挟んで加計呂麻島、請島、与路島の有人3島を含む、総面積240km<sup>2</sup>に及ぶ広大な行政区域を有しています。

## 瀬戸内町の花

## 【ウケユリ】



本町の請島が自生地のウケユリは、県指定の天然記念物で、花の香りの強いことや、姿形の美しさから幻の百合と呼ばれています。



おすすめ

## 観光名所「<sup>しよどん</sup>諸鈍のデイゴ並木 / ホノホシ海岸 / 与路島のサンゴの石垣」



諸鈍のデイゴ並木

### 【諸鈍のデイゴ並木】

南国奄美の代表的な花木の一つとしてなじみ深いデイゴは、原産地はインドで、人間の手により各地に広がったようです。

諸鈍のデイゴ並木は、沖縄との交易が盛んであった頃に植えられ、樹齢は300年以上ともいわれています。

5月から6月頃に真っ赤な花を咲かせますが、このデイゴの花が満開に咲きほこる年は、大きな台風が吹くともいわれています。



ホノホシ海岸

### 【ホノホシ海岸】

太平洋に面した海岸で、打ち寄せられる石は荒波に洗われて玉石となっています。

また、周囲には奇岩や祠（洞窟）が点在し、釣り場としても知られ、男性的な景観地帯として、瀬戸内町を代表する観光地の一つです。

### 【与路島のサンゴの石垣】

次世代に引き継ぎたい島の景観として、平成20年度に「島の宝100景」（国土交通省）に選定されました。

集落全体に見られるサンゴの石垣は、かつては地元の人々が総出で海から切り出し積み上げたもので、夏は風通しがよく、奄美の暮らしにあった風情を今に伝えています。



与路島サンゴの石垣

(瀬戸内町 企画課)

# いきもののいる風景 ~ 陸貝について ~

海に囲まれた奄美群島では、陸貝より海の貝のほうが身近な生きものでしょう。海の貝は貨幣や装飾に使われた歴史があり、また現在でもアクセサリーやお土産などで利用されています。しかし、陸貝となるとそれほど身近ではありません。小さく目にとまりにくい生きものですが、奄美の生態系を作る大事な一員です。この小さな生きものにも目を向けてみませんか。



## ポイント 陸貝とは？

陸に住んでいる貝類。通称カタツムリと呼ばれる巻貝やナメクジなど。ナメクジが陸貝だということに驚かれる方もいると思いますが、殻が退化してなくなっているものの、立派な陸貝の仲間なのです。

## 奄美にいる陸貝の種類

奄美群島に生息している陸貝を、一部ですが紹介します。



### オオシマケマイマイ

分布：奄美大島、加計呂麻島、喜界島、徳之島、須子茂離島

生息場所：森林内の林床や葉の上など  
殻の周りに短い毛が生えている。広葉樹林内では比較的たくさん見られる。



### タメトモマイマイ

分布：宝島、喜界島、奄美大島、加計呂麻島、徳之島、沖縄諸島

生息場所：海岸近くの森林内  
アダン林に殻がいっぱい落ちていて、ヤドカリがよく利用している。



### クマドリヤマタカマイマイ

分布：奄美大島、加計呂麻島、請島

生息場所：森林内の葉の上や幹など  
山高帽のような殻の形が特徴的で、5本の色帯がある。



### アマミヤマタカマイマイ

分布：奄美大島

生息場所：森林内の樹上  
樹上で暮らしているため、探してもなかなかみつけられない。



### オキノエラブヤマタカマイマイ

分布：沖永良部島

生息場所：森林内の樹上  
島の大部分は農地になっており、生息環境はかなり限られている。



### トクノシマクマタカマイマイ

分布：徳之島

生息場所：森林内の樹上  
アマミヤマタカマイマイと同じように色や模様のバリエーションがある。



## ポイント たかが貝。されど貝！

小笠原諸島が世界自然遺産に登録されていますが、特に固有の陸貝が多くいることが高い評価を得ました。陸貝は、島ごとに特化し、その島に固有の種となっていることが多いそうです。そのため奄美群島にも多くの固有種が生息しています。たかが貝と思うかもしれませんが、奄美群島の生きもの多様性を表す立派な存在なのです。



### オオシマフリイデルマイマイ

分布：奄美大島

生息場所：森林内の林床  
殻の表面には細かい毛が密生している。



### ベッコウマイマイ

分布：奄美大島、加計呂麻島、徳之島、沖縄諸島

生息場所：森林内の木の幹、林床など  
ベッコウのようにツルツルした殻をもち、殻が透けているため内臓が見える。



### グウドベッコウ

分布：奄美大島、加計呂麻島、徳之島、沖縄島

生息場所：森林内の林床など  
ベッコウマイマイよりも小さく、軟体部を殻にしまうことができる。



### コケハダシワクチマイマイ

分布：奄美大島、加計呂麻島、請島

生息場所：森林内の朽木の干下など  
殻全体に毛が生えていて、殻の中心はへこんでいる。



### オオカサマイマイ

分布：薩摩半島中部、屋久島、奄美大島、加計呂麻島、請島、徳之島、沖永良部島、沖縄島

生息場所：森林内の林床など  
殻は薄く光沢があり、やや透明。円盤のように平たい形をしている。



### ネニヤダマシギセル

分布：奄美大島

生息場所：森林内の木の幹など  
湿度の高い照葉樹林の太い幹についている。基本的には夜行性だが、昼間でも雨天時には活動している。



### フクダゴマオカタニシ

分布：沖永良部島、与論島、沖縄島

生息場所：森林内の石灰岩の表面など  
成貝で2mmほどしかない、とても小さな貝。日本では数少ない陸上性のアマオブネガイ目の貝。



### ザレギセル

分布：奄美大島、加計呂麻島、請島、徳之島

生息場所：森林内の朽木など  
先端に向かって細くなる独特の殻をしている。



### ヤマナメクジ

分布：本州、四国、九州

生息場所：木の幹、林床など  
10cm以上になる巨大なナメクジ。森の中のアちこちにいる。



## ポイント 食べるもの

植物や落ち葉、キノコ、藻類などを食べます。多くの陸貝は植物食のようですが、左の写真のように肉食の陸貝もいます。食事風景を撮った右の写真、口元のアップは意外や意外！とても可愛らしいと思いませんか？



▲ オオシマケマイマイを食べるベッコウマイマイ ▲ キノコをたべるヤマナメクジ



# センター & 協議会 News



ただ今

奄美野生生物保護センターは、リニューアルのために工事中です！

大体の工事は終わり、完成まであともう少しです！外観も素敵に変身しましたが、館内も大変身！  
特におススメは、図書コーナーといろいろな場所に設置された剥製たちです。



Before



After!!

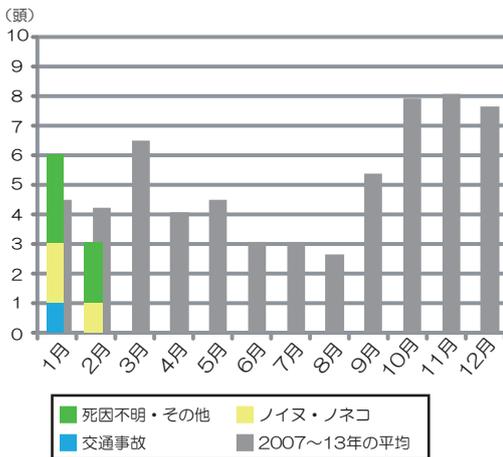
4月29日の開所記念日にあわせて、リニューアルイベントを行います！

是非、新しくなったセンターにご来館下さい。



## アマミノクロウサギ死体確認数

(2014年 アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。



## 奄美に住む動物たちのために、あなたができること

### 安全運転

特に夜間の林道では20km/h以下で走行しましょう。

### 犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べしてしまうこともあります。



捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。



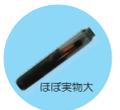
マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



避妊・去勢手術

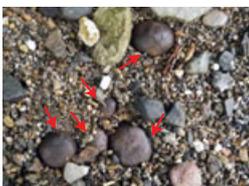
繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることにあります。



## ● 犬・ねこに関するお知らせ ●

繁殖を望まないのであれば、避妊・去勢手術をしましょう。犬・ねこはたくさんの子どもを産みます。自由に繁殖できる状況では、あっという間に数が増えてしまいます。しかし、実際には飼える数というのは限られます。また、避妊・去勢手術をすることによって、性ホルモンの影響による病気のリスクがなくなるメリットがあります。

## いきものおもしろ写真館



キノコの仲間

パッと見ると、小石か何かの種が埋まっているように見えませんか？掘り出して割ってみると中は空洞でした。アカダマタケかなと思ったのですが、種類を特定することは出来ませんでした。こんなキノコの仲間がいるんですね。

## 編集後記



左の写真は2ページにも載せたオオトラツグミですが、撮った場所がなんと！保護センターの敷地内です。2週間ほどうろうろしていました。本来、人里のそれも開けた場所にはいない希少種です。ありがたみがなくなるあと思いつつ、身近な生きものになったらなんてすばらしいことなのだろうか、と夢が膨らみます。